公益社団法人　日本水産学会
平成 27 年度第 7 回理事会議事録

1　開催された日時　　平成 28 年 2 月 6 日 ㈯　13 時 00 分～16 時 56 分
2　開催された場所　　国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス
　　2 号館 200A-2 会議室（東京都港区港南 4-5-7）
3　理事総数及び定足数
　　総数　20 名、定足数 11 名
4　出席理事数　20 名
　㈱本人出席㈱　　吾妻行雄、荒井克俊、荒井修亮、飯田貴次、伊藤文成、大越和加、香川浩彦、金子豊二、木島明博、嵯峨直恆、佐竹幹雄、青海忠久、関　伸吾、東海　正、時村宗春、古谷　研、松山倫也、山下　洋、渡邊良朗、渡部終五
　㈱監事出席㈱　　青木一郎
　㈱幹事出席㈱　　荒川久幸、石田真巳、鈴木直樹、鈴木美和、久田　孝、二見邦彦

5　議　　案
　決議事項　第 1 号議案　　「平成 28･29 年度役員 ㈱理事及び監事㈱ 候補者の決定」の件
　　第 2 号議案　　「平成 28 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件
　　第 3 号議案　　「平成 28 年度事業計画」の件
　　第 4 号議案　　「平成 28 年度予算」の件
　　第 5 号議案　　「事務機能合理化推進資金の積立」の件
　　第 6 号議案　　「平成 28･29 年度支部長」の件
　　第 7 号議案　　「特定個人情報取扱規程の制定」の件
　　第 8 号議案　　「編集委員会運営規程の一部改正」の件
　　第 9 号議案　　「平成 27 年度日本水産学会論文賞の決定」の件
　　第 10 号議案　　「平成 27 年度日本水産学会賞の業績題目変更」の件
　　第 11 号議案　　「寄附金の使途」の件
　　第 12 号議案　　「名誉会員出口吉昭氏の追悼文」の件
　　第 13 号議案　　「平成 28 年度各種委員会委員長選出」の件
　　第 14 号議案　　「平成 28 年度各種委員会委員選出」の件
　　第 15 号議案　　「平成 28 年度春季大会東京海洋大学との共催」の件
　　第 16 号議案　　「平成 28 年度秋季大会の委員長交代」の件
　　第 17 号議案　　「共催，協賛，後援の取り扱いの申し合わせの一部改正」の件
　　第 18 号議案　　「平成 27 年度資格喪失者」の件
　　第 19 号議案　　「共催及び協賛」の件
　　第 20 号議案　　「入会承認」の件

　報告事項　①第 6 回理事会以降の職務執行の状況
　　②その他確認事項

6　議事の経過及びその結果
　㈴ 定足数の確認等
　　渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。
　㈵ 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

㈹決議事項㈹

第 1 号議案　「平成 28･29 年度役員 ㈹理事及び監事㈹ 候補者の決定」の件（別紙 1）

金子総務担当理事より、平成 28･29 年度役員（理事及び監事）候補者に関する説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 2 号議案　「平成 28 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

金子総務担当理事より、平成 28 年度定時社員総会の日時、場所及び目的である事項の原案について説明があった。

開催日時：　平成 28 年 3 月 28 日(月)13 時開始

開催場所：　東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区港南）

目的である事項：　第 1 号議案　平成 27 年度事業報告ならびに貸借対照表，正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

第 2 号議案　平成 28・29 年度役員（理事及び監事）選任の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 3 号議案「平成 28 年度事業計画」の件（別紙 2）

金子総務担当理事より、平成 28 年度事業計画の原案について説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

本議案について以下の質疑応答があった。

金子理事　「水産環境保全委員会には、理事会の承認を得て行うシンポジウムという表記があるが、他の委員会では特に理事会の承認を得てとは記載されていない。統一する必要があるか。」

東海理事　「水産環境保全委員会、水産利用懇話会委員会、水産政策委員会の規程には、理事会の承認を得てとの表記がある。」

大越理事　「水産環境保全委員会では、シンポジウム等の実施に際して開催前と開催後に理事会に報告している。」

古谷理事　「水産環境保全委員会の規程に特に記載されているのは、従来、理事会に確認を取った方が良い事案が続いたことがあったためではないか。」

佐竹理事　「水産利用懇話会委員会では、シンポジウムの内容が決まらないと理事会に諮れないので、現在も事後報告はしているが、事前承認を得るのは時間的に難しい。」

渡部会長　「このことについては、今後、あらためて議論をしていきたい。」

渡邊理事　「各支部等における表彰の項について、春季大会における高校生の研究発表に対する表彰が関東支部の項目になっているが、高校生の表彰は関東支部だけの実施なのか。」

金子理事　「関東支部の運営規程に記載されているので事業計画に記載されたと思う。」

飯田理事　「中部支部では、40 歳以下という枠で優秀な発表に対して表彰しているので、高校生も含まれている。」

関　理事　「中国・四国支部では、この項目とは別に高校生の発表に対して表彰を実施している。」

金子理事　「表彰については各支部の個性があってよいので、支部で申し合わせを作ってあれば問題ないと思う。」

東海理事　「表彰を実施する支部には、表彰の申し合わせを提出してもらい、理事会で承認しているので、関東支部も表彰の申し合わせを提出してほしい。表彰事業は公益目的事業の一環であり、表彰に関するガイドラインを満たす必要があることを意識してもらいたい。」

第 4 号議案「平成 28 年度予算」の件（別紙 3）

山下財務担当理事より、平成 28 年度予算の原案について説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

本議案について以下の質疑応答があった。

金子理事　「（1）経常収益の“コンソーシア契約収入“と“そのほかの収入”という項目が分かりにくいが、何のことか。“Fisheries Science 電子書籍契約に係る収入”とする方がよいのではないか。」

東海理事　「“コンソーシア”は出版社が使っている用語なので、変更して問題ない。」

古谷理事　「“そのほかの収入”とは、何のことか。」

東海理事　「“そのほかの収入”は、著者が Fisheries Science にオープンアクセス等を行うことで入ってくる著者負担分が主な内容である。」

金子理事　「“Fisheries Science 電子書籍契約に係る収入”と表現すると、“そのほかの収入”も含まれる。」

山下理事　「変更しても問題ないようなので修正する。」

古谷理事　「今年度予算と比較すると消耗品や雑費を相当に抑えているようだが、無理はないのか。」

山下理事　「今年度の実績に基づいて予算を立てているので無理はない。」

大越理事　「次年度、新たに男女共同参画推進委員会で実施する談話会に関する経費が独立の項目にはないが、予算に含まれているか。」

山下理事　「他の項目と合計されているが、この予算案に含まれている。」

第 5 号議案「事務機能合理化推進資金の積立」の件

山下財務担当理事より、日本水産学会事務局で使用している会計処理、会員情報、学会誌投稿論文の管理等のための業務支援システムの改良（オペレーティングシステムやブラウザのバージョン更新等に対応するため）を行うため、システム改良資金として 5 年間の積み立て計画案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 6 号議案「平成 28･29 年度支部長」の件

金子総務担当理事より、標記の支部長候補者について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

北海道支部	安井　肇
東北支部	秋山秀樹
関東支部	菅野信弘
中部支部	古丸　明
近畿支部	荒井修亮
中国・四国支部	山本民次
九州支部	征矢野　清

第 7 号議案「特定個人情報取扱規程の制定」の件

金子総務担当理事より、標記の規程について原案の説明があった。本議案は、原案の内容を各理事が詳細に検討して、次回理事会での制定に向けて継続審議となった。

第 8 号議案「編集委員会運営規程の一部改正」の件（別紙 4）

古谷編集担当理事より、編集委員会運営規程の一部改正について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 9 号議案「平成 27 年度日本水産学会論文賞の決定」の件（別紙 5）

古谷編集担当理事より、平成 27 年度日本水産学会論文賞の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 10 号議案「平成 27 年度日本水産学会賞の業績題目変更」の件

荒井（克）学会賞担当理事より、平成 27 年度日本水産学会を受賞した萩原篤志会員から

提出された受賞業績題目の一部変更許可の願い出について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り変更を許可することを可決した。

受賞業績題目

変更前「餌料プランクトンの実験飼育系の確立とその増養殖への応用に関する研究」

変更後「餌料プランクトンの生物機能解明とその増養殖への応用に関する研究」

第 11 号議案「寄附金の使途」の件（別紙 6）

山下財務担当理事より、平成 27 年度寄附金の使途について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員で別紙の通り可決した。

第 12 号議案「名誉会員出口吉昭氏の追悼文」の件

渡部会長より、昨年末に亡くなった名誉会員出口吉昭氏の追悼文を日本水産学会誌と Fisheries Science に掲載することについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。続いて、杉田治男会員が作成した追悼文が紹介され、気付いたことがあったら学会事務局に連絡するように依頼があった。

第 13 号議案「平成 28 年度各種委員会委員長選出」の件

金子総務担当理事より、平成 28 年度各種委員会委員長のうち理事会で選出する委員長について説明があった。審議の結果、次の通り出席理事全員一致で可決した。

シンポジウム企画委員会	益本俊郎
平成 27 年度に引き続き平成 28 年度も委員長をつとめる者	
編集委員会	佐藤秀一
企画広報委員会	浅川修一
国際交流委員会	佐藤秀一
水産教育推進委員会	小島隆人
水産政策委員会	八木信行

第 14 号議案「平成 28 年度各種委員会委員選出」の件

金子総務担当理事より、平成 28 年度各種委員会委員選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 15 号議案「平成 28 年度春季大会東京海洋大学との共催」の件

時村関東支部担当理事より、平成 28 年度春季大会を東京海洋大学と共催で開催することについて、中山一郎委員長からの依頼書が示され、渡部会長に依頼があった。審議の結果、依頼内容を一部修正の上、出席理事全員一致で依頼の承諾を可決した。

第 16 号議案「平成 28 年度秋季大会の委員長交代」の件

金子総務担当理事より、平成 28 年度秋季大会の委員長交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[逝去]　宮下　盛　　[選出]　太田博巳

第 17 号議案「共催, 協賛, 後援の取り扱いの申し合わせの一部改正」の件（別紙 7）

金子総務担当理事より、標記の申し合わせの一部改正について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 18 号議案「平成 27 年度資格喪失者」の件

東海総務担当理事より、平成 27 年度資格喪失者の案として対象者となる会員氏名リストが示され、2 月末までに滞納会費が支払われることでリストから名前が除かれるという説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第 19 号議案「共催及び協賛」の件

共催及び協賛について、①は金子総務担当理事より、②は渡邊理事より説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

①原子力総合シンポジウム 2016

主催　　日本学術会議総合工学委員会
共催　　エネルギー・資源学会　他 48 学協会（予定）
日程　　平成 28 年 3 月 16 日（木）
場所　　日本学術会議講堂（東京都港区）
希望　　共催
負担金　なし

② INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON “DRIVERS OF DYNAMICS OF SMALL PELAGIC FISH RESOURCES”

主催　　PICES、ICES
協賛　　未定
日程　　2017 年 3 月 6 日～11 日
場所　　カナダ・ビクトリア市
希望　　協賛（サポーター）
負担金　10 万円

第 20 号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

（報告事項）

①第 6 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

渡部会長より、次期の理事会と引き継ぎをするため、引継ぎ事項をまとめて 2 月末日までに事務局に提出するよう依頼があった。

・庶務関係

金子担当理事より次の報告があった。

1) 平成 28・29 年度近畿支部理事候補者追加の諾否について

支部担当理事候補者は、役員候補者選出規程により選挙で支部毎に 2 名選出することになっているが、近畿支部では 1 名の選出となった。そのため、前回の理事会においてもう 1 名の支部担当理事候補者を選び近畿支部幹事による諾否投票を行った。以下の通り近畿支部幹事の了承が得られたので，役員候補者名簿へ登載する。

[近畿支部幹事 14 名]

候補者	諾	否	無効
左子　芳彦	12	1	0

2) 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針の策定

第 7 号議案で説明があった特定個人情報の取扱いについて、渡部会長名で基本方針を定めたもので、日本水産学会ホームページに掲載して従事者（学会会員）に周知する。

3) 平成 28・29 年度支部幹事の支部長指名について

各支部において支部長により、2～3 名の支部幹事が指名された。

・企画広報関係

東海担当理事より、平成 28 年 1 月 6 日（水）に企画広報委員会が開催されたとの報告があった。

・財務関係

山下担当理事より、第 11 号議案で示された 2 件の寄付について報告があった。

・編集関係

古谷担当理事より、平成 28 年 1 月 18 日（月）に開催された編集委員会について次の報告があった。

1) 新年度の編集委員会の構成： 委員は交代なしで、幹事 1 名が交代した。Fisheries Science の

editorial board は、海外 editor 7 名が引き続き務めることになった。
2) 新年度の事業計画：従来の活動に加えて、科研費事業の評価・計画の見直しを進める。
3) 報文の投稿規程、（日本水産学会誌の『原稿の書き方』，Fisheries Science の『Introduction for Authors』）について，学名の後に括弧付で分類群を示すのを認めないことの一文を加える改正を決定した。

・学会賞関係

荒井（克）担当理事より、金子豊二会員の日本農学賞受賞決定の報告があった。

・シンポジウム関係

松山担当理事 特になし

・出版関係

木島担当理事より、平成 27 年 1 月 8 日（金）に開催された出版委員会について次の報告があった。

1) 平成 29 年 3 月出版予定の水産学シリーズの候補として 2 件を採択した。
2) ベルソーブックス関係で 1 件が現在、出版に向けて進行中である。
3) 委員長が吉崎会員から杉田会員に交代したほか、数名の委員が交代した。

・水産技術誌監修関係

伊藤担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 28 年 2 月中に水産技術誌監修委員会を開催予定である。
2) 水産技術誌監修委員会では、委員が 2 名交代した。
3) 編集委員会では、委員が 2 名交代した。

・国際交流関係

青海担当理事 特になし

・水産教育関係

荒井（克）担当理事より、第 34 回「海とさかな」自由研究・作品コンクールについて以下の報告があった。平成 27 年 12 月 5 日（土）に表彰式が開催され、会長代理で和田時夫会員が出席した。日本水産学会会長賞は、研究部門として自由研究「サバ石けん」（奈良県の小学生 鈴木知佳さん）、創作部門として作文「わたしはさかながいちばんだいすき」（愛媛県の小学生 渡邊琉愛さん）が受賞した。

・水産政策関係

山下担当理事より、平成 28 年 2 月 16 日（火）・17 日（水）に外務省主催で開催される海洋法に関する国際シンポジウム「海洋資源の国際法」で八木委員長がコメントするとの報告があった。

・漁業・資源管理関係

渡邊担当理事 特になし

・水産利用関係

佐竹担当理事より、平成 28 年 2 月 5 日（土）に第 3 回水産利用懇話会委員会と第 2 回講演会が開催されたとの報告があった。

・水産増殖関係

木島担当理事より、平成 28 年 1 月 7 日（木）に第 3 回水産増殖懇話会委員会をメール会議で開催し、平成 28 年度の予算計画、委員、第 1 回講演会について決議したとの報告があった。

・水圏環境関係

山下担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 28 年 1 月 9 日（土）に沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイント・シンポジウム「海岸環境の保全・再生と防災・減災」を開催し、107 名の参加者があった。
2) 平成 28 年 3 月 26 日（土）にシンポジウム「栄養塩添加による漁場生産力の向上」を開催予定である。

3) 平成 28 年 6 月 3 日 ㈮ ～5 日 ㈰ に開催される「全国あまもサミット 2016 in 備前」を日本水産学会も含まれる沿岸海洋関連学会連絡協議会が共催する。その際に、ジョイント・シンポジウム「わが国沿岸域におけるあまも場再生への道　これまでとこれから」を開催予定である。

・男女共同参画関係

大越担当理事より、新しい試みとして平成 28 年度春季大会で開催する談話会の日時が 3 月 29 日 ㈫ 昼休みに決まったとの報告があった。

・社会連携関係

嵯峨担当理事　特になし

・将来計画関係

古谷担当理事より、創立 85 周年記念事業の準備活動を進めているとの報告があった。

・北海道支部

嵯峨担当理事より、平成 27 年 12 月 18 日 ㈮ ・19 日 ㈯ に開催された北海道支部大会において、来年度の支部大会は東北支部との合同大会として開催することが決ったとの報告があった。

・東北支部

吾妻担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 28 年 2 月 5 日 ㈮ に東北支部例会が開催された。退職者 1 名の特別講演が行われ、若手研究者 3 名の震災関連調査の成果が報告された。支部例会に続いて、支部幹事会、支部総会が開催され、支部長賞受賞者 2 名への表彰が行われた。

2) 支部幹事会と支部総会において、来年度の支部例会は北海道支部との合同で開催することに決まった。

・関東支部

時村担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 28 年度春季大会準備状況

a) 講演申込数 754 件 ㈰ 口頭発表 490 件、ポスター発表 264 件 ㈱ 、高校生による研究発表申し込み数 58 件。

b) 会期中の各種委員会、シンポジウム、ミニシンポジウム、学会賞受賞者講演等については、学会事務局からの情報をもとに会場設営の手配中である。

c) 会場費の減免のために春季大会の開催を東京海洋大学との共催とすべく、理事会に検討を依頼した ㈱第 15 号議案 ㈱ 。

2) 平成 29 年度春季大会については、北里大学を主催とし、平成 28 年 3 月 25 日 ㈯ ～29 日 ㈬ または 26 日 ㈰ ～30 日 ㈭ を開催期間とし、東京海洋大学を会場として開催する計画を立てている。大会委員長は菅野信弘 ㈱北里大学海洋生命科学部長 ㈱ 。日程及び会場の決定については，次回理事会において審議される予定である。

3) 水産学若手の会のサポートについて

平成 28 年度春季大会で開催される水産学若手の会によるミニシンポジウム「水産資源の持続的利用と認証制度－東京オリンピックで日本の水産物を提供できるのか？－」について、財政支援 ㈱5 万円 ㈱ と関東支部との共催の要請があった。現在、平成 28 年度関東支部長菅野会員および北里大学事務局の了解の下、関東支部幹事会に意見照会中である。

・中部支部

飯田担当理事　特になし

・近畿支部

荒井 ㈱修 ㈱ 担当理事より、平成 27 年 12 月 13 日 ㈰ に近畿支部後期例会を開催し、特別講演と一般講演を行い、一般講演では優秀発表賞を決めて賞状と賞品を授与したとの報告があった。

・中国・四国支部

関担当理事より、次年度から事務局が広島大学に替わるとの報告があった。

・九州支部
　香川担当理事　特になし
・英文書籍監修委員会（特別委員会）
　東海総務担当理事より、1 冊目の書籍は査読が終わって英文のチェックを受けている段階なので間もなく刊行に進み、2冊目と3冊目の書籍も査読の結果が出つつある段階であるとの報告があった。
・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）
　渡部会長より、以下の報告があった。
1) 平成 27 年 2 月 6 日（土）に第 16 回東日本大震災災害復興支援検討委員会が開催され、災害復興支援拠点と水産総合研究センター復興対策現地推進本部からの報告、関係委員会（水産政策委員会、水産環境保全委員会、企画広報委員会）からの報告、平成 27 年 9 月 21 日（月）に仙台で開催された理事会主催シンポジウムの報告、平成 27 年 11 月 27 日（金）に開催された放射能問題に関する日本学術会議公開シンポジウムの報告があった。
2) 小冊子（続編）の刊行が企画広報委員会の議を経て進行中だが、平成27年3月までのデータを入れるため、4 月以降の刊行を予定している。この刊行は、次年度も現在の委員が行うことを確認した。刊行のための経費 30 万円程度については、次年度の財務担当理事への引継ぎが依頼された。
・水産学若手の会（特別委員会）
　渡部会長より、次の報告があった。
1) 平成 28 年度春季大会において、シンポジウム（エコラベルについての勉強会）を開催予定である。
2) 委員長は交代しないが、委員に若干の交代があった。
・日本水産学会 85 周年記念事業委員会（特別委員会）
　渡部会長より、以下の報告があった。
1) 標記事業は開催が来年度に迫っており、準備の継続性を維持するために渡部会長は会長退任後も本委員会の委員長を務め，次期会長とともに記念事業の準備に当たる。
2) 募金活動について
　募金担当の青海理事より、各支部担当理事に依頼した支部の募金委員の選出結果が集まり、現在、取りまとめ中であるとの報告があった。次回理事会の前に委員会を開催して募金体制を固め、4 月から募金活動が行えるようにする。
・財務検討委員会（特別委員会）
　山下担当理事　特になし
・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
　東海総務担当理事より、日本海洋学会提案「小学校理科第 4 学年単元『海を考えよう』の新設」の共同提案について以下の報告があった。
　提案の内容は、これまで小学校にはなかった、水産の理科的な部分の学習を加えていくことなので、日本水産学会として賛同して良いのではないか。日本水産学会がこの提案に賛同するか、調整・連絡係を誰にするか、を今後議論したい。

②その他
・学会賞受賞者講演の座長と会場係について
　金子総務担当理事より、学会賞受賞者講演の座長と会場係について説明があり、担当を確認した。
・次回理事会の開催について
　金子総務担当理事より、次回平成 28 年度第 1 回理事会は平成 28 年 3 月 13 日（日）14 時

30 分から、国立大学法人東京海洋大学で開催する予定である旨確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16 時 56 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

平成 28 年 2 月 6 日
公益社団法人　日本水産学会

議長　会　長（代表理事）

監　事